

各国の書店学校概要



一般財団法人 出版文化産業振興財団 (JPIC)

ドイツ：Mediacampus Frankfurt-概要

- 運営：ドイツ書籍商協会
- 面積13,000m²、教室11室、宿泊77室、
カフェテリア等完備
- 書籍・出版・メディア業界向け教育機関

ドイツ：Mediacampus Frankfurt-沿革

- 1946年：ケルンで研修開始
- 1962年：フランクフルトに新施設竣工
- 2009年：ブランド統一
「Mediacampus Frankfurt」

ドイツ：Mediacampus Frankfurt-教育内容

- 職業訓練校（国認可、代替職業学校）
- 18週間の住み込み研修
- 上級資格（Fachwirt）や公開セミナー、企業内研修も実施

ドイツ : Mediacampus Frankfurt-講座例

- Grundlagen Social Media (SNS基礎)
- Medienkaufmann/-frau
(メディア取扱者養成)
- Fachwirt für Medienmarketing und –
vertrieb
(上級資格)

フランス : École de la Librairie - 概要

- 設立 : 1972年
- 年間1,400人育成、60人講師、パリ拠点・地方講座あり
- 書店員三大要素「商品構成・顧客対応・経営管理」の習得支援

フランス : École de la Librairie – 教育内容

- BP libraire（書店員専門職資格・約2年）
- Licence Professionnelle（学士相当資格）
- リカレント教育（転職・開業支援）
- 継続教育（現職スキル向上）

フランス : École de la Librairie – 特徴

- 政府Qualiopi認証
- 実務経験者による運営
- 書店団体と強い連携
- 卒業後の独立開業事例多数

韓国：서점학교（書店学校） - 概要

- 主催：韓国出版文化産業振興院（KPIPA）
- 運営：韓国書店組合連合会
- 対象：開業予定者、出版・書店業界従事者
- 無料研修（オンライン・オフライン）

韓国：서점학교（書店学校） - 教育内容

- 期間：4週間、週2～3回
- 講義例：「書店のすべて」「地域書店支援政策」
「ブックキュレーション」
- 特別講義・トークセッションあり
（例：2023年第48期）

日本：本の学校-概要・沿革

- ・1995年、今井書店グループ創業120周年記念事業として鳥取県米子市を拠点にスタート

当初のおもな活動

- ・ドイツ書店学校をモデルにした書店人教育講座
実習店舗を兼ねた今井書店本の学校ブックセンター 2 F に研修室・ホールを整備
出版社、取次、書店等を講師に合宿形式の研修
- ・出版業界、図書館、市民が交流・研修する場として「大山緑陰シンポジウム」を5年間開催
終了後は「出版産業シンポジウムin東京」として開催
- ・2012年 NPO法人化、2024年10月 今井書店グループより完全に独立

日本：本の学校-現在の活動内容・特徴

【活動内容】

- ・生涯読書活動事業（市民による読書推進活動のサポート、講演会）
- ・本の未来創造事業（シンポジウム、勉強会、公開講座）
- ・知の地域づくり事業（中国山陰地域の横断的ネットワーク）

【特徴】

- ・非営利：支援者による年会費および各受講料、補助金等により運営
- ・公開型：職業経験・会員非会員を問わず参加可能
- ・出版業界、オルタナティブな出版・流通、図書館等を幅広くフォローし、さまざまなプレイヤーをつなぐ〈場〉を提供

日本：本の学校-書店人講座について

- ・2023年度より「書店開業入門講座」として開講

本の仕入れ方・商品情報の集め方、資金計画、店舗管理など、個人書店経営者や取次経験者を講師に迎えてオンラインで複数開講。

アーカイブ配信を含めて、1テーマあたり毎回100名程度の受講がある。

書店に関心のある一般の人、個人書店・シェア書店を始めた人、図書館員、出版関係者など。

JPIC 読書アドバイザーとは

★本について、読書について知識見識を
持ってアドバイスが出来る人

今、特に本の世界と読者をつなぐ
人材が求められています！



第32期 講座の構成

- ★ 4回8日間のスクーリング
講義+グループディスカッション
- ★ 電子テキスト
- ★ レポートの提出
- ★ 希望者には抽選で追加の学びを深める講座も企画中





最後に

一般財団法人 出版文化産業振興財団 (JPIC)